

ハイブリッド積(バラ+パレット)による 運転手の拘束時間短縮の取組

王子ネピア(株)

王子物流(株)

2024年6月21日

1. 全てバラ積作業の場合

●10ト1台満載（690ケース）積込時間平均90分（休憩除く）

●積込手順：パレットに載せた製品を、運転手が手でトラックに積み付けていた（写真左）

後方部については荷室内足場減少の為、作業台を設置し積込及び養生固縛を行っている（写真右）

➡作業台設置については指定保管場所があり、
作業台設置～回収作業時間として5分程度必要



2. ハイブリッド積の場合

- 構成：小口銘柄をトラック前方より手積開始
中間より大口出荷銘柄パレット品を6パレット積込
- 必要時間：バラ積分40分（写真左）、パレット積分15分（写真右）（合計55分）
 - ➡バラ積みの作業が減ったことにより、ドライバーの負担軽減（時間短縮35分・積込作業負担減）
 - ➡作業台の設置が不要となり、時間短縮となる。
（バラ積品をパレット品にて押さえつけ養生固縛としている）



3. ハイブリッド積の結果

- 運転手拘束時間（導入前） 入場受付から退場まで2時間超が15%程度発生
⇒（導入後）2時間超発生なし
- 積載効率：ハイブリッド積導入により、積載効率は10～15%悪化
※全品パレット積対応の場合は20～30%の積載減
⇒箱寸法調整・パレット積数変更により、積載効率改善を計画

